

PMDA 医療安全情報

(独)医薬品医療機器総合機構

PMDA No.72 2026年 2月

胃瘻カテーテル取扱い時の注意について

注: 胃瘻カテーテルはボタン型とチューブ型を含む。

PMDA 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
Pharmaceuticals and Medical Devices Agency

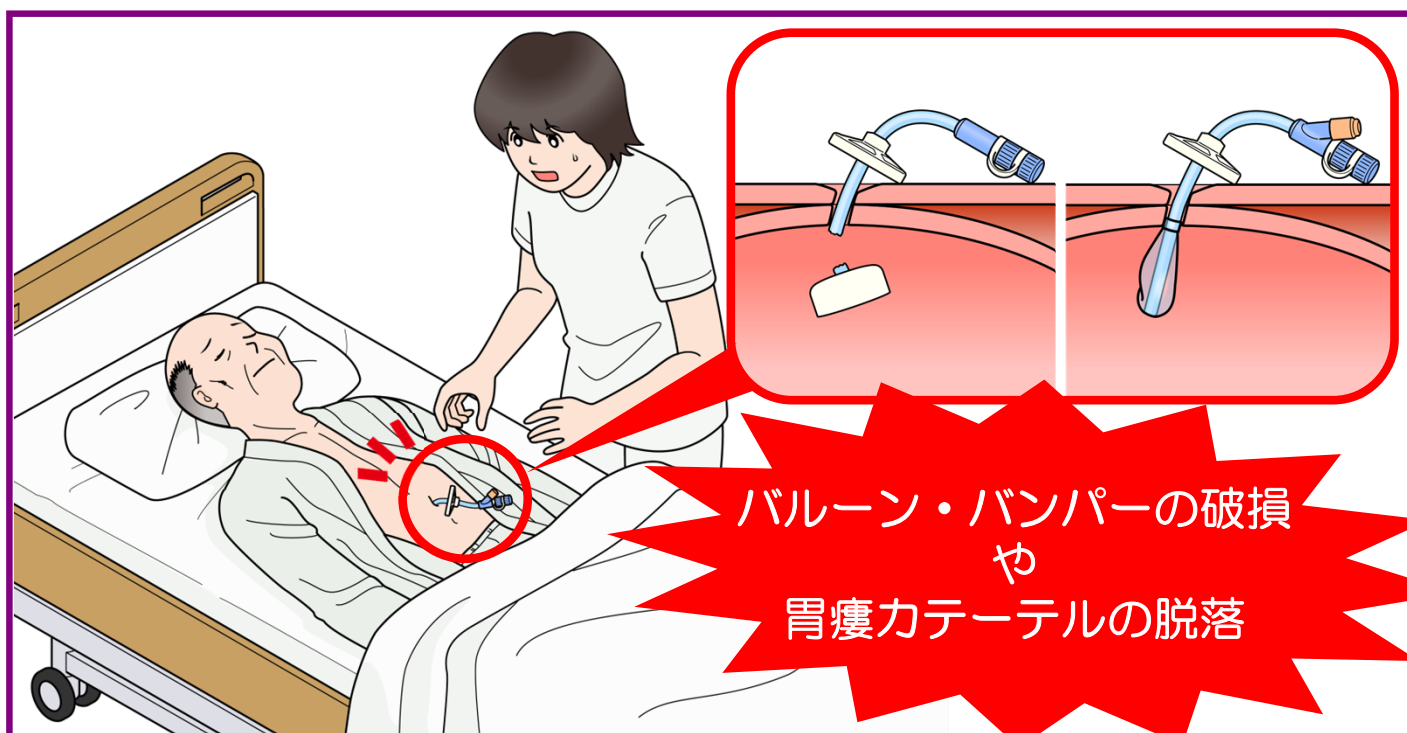
iq 公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

今回は公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故情報収集等事業との共同企画です。
「医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.231 使用期間を超過した胃瘻カテーテルの破損(2026年2月)」も参照してください。

1 使用期間を超過した胃瘻カテーテルの破損や脱落

(事例1) 整形外科病棟に入院中の患者に、消化器外科で胃瘻を造設した。バルーンが破裂し胃瘻カテーテルが抜けかかっていることを、整形外科病棟にて保清中に発見した。本来30日以内に交換すべき胃瘻カテーテルを4ヶ月間交換していなかった。

(事例2) 患者が「胃瘻が外れた」と救急外来を受診した。胃瘻カテーテルは腹壁から脱落しかかっており、本来4ヶ月毎に交換すべき胃瘻カテーテルを3年4ヶ月間交換していなかった。胃瘻カテーテルのバンパーが破損し胃内に遺残した。

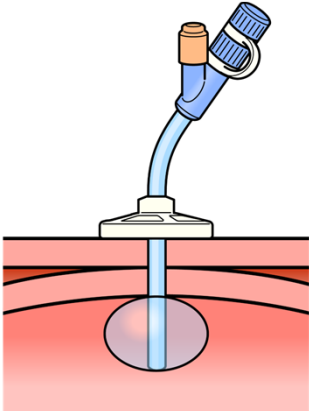
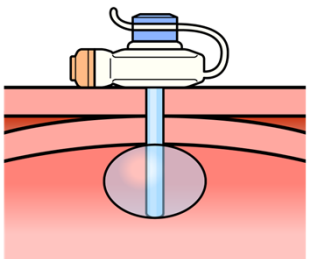
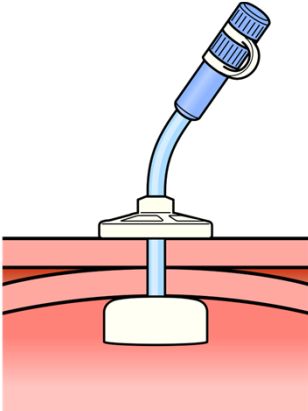
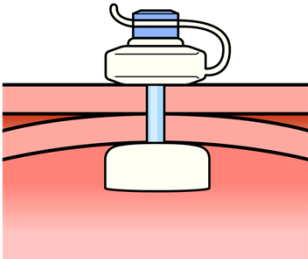


短期的使用と長期的使用胃瘻カテーテルの違い

POINT

～安全使用のために～

- 胃瘻カテーテルには、短期的使用と長期的使用の2種類があります。
- 各製品の使用期間は、添付文書や患者向けマニュアル、患者カード等で確認しましょう。
- 使用期間を超過すると、使用に伴う劣化により、バルーン・バンパーの破損や胃瘻カテーテルの脱落のリスクが高くなるため、使用期間を守りましょう。

種類	短期的使用	長期的使用
一般的名称	短期的使用経腸栄養キット 短期的使用胃瘻栄養用チューブ 短期的使用胃瘻用ボタン	長期的使用経腸栄養キット 長期的使用胃瘻栄養用チューブ 長期的使用胃瘻用ボタン
留置後の使用期間	30日以内	30日を超える 注：各製品の使用期間は添付文書等を確認すること。
構造	<p>バルーン型（固定水を注入する）</p> <p>バルーン・チューブ型</p>  <p>バルーン・ボタン型</p> 	<p>バンパー型</p> <p>バンパー・チューブ型</p>  <p>バンパー・ボタン型</p> 

胃瘻造設をした診療科と管理をする診療科が異なる場合は、診療科間で、胃瘻カテーテルの交換頻度・交換予定日を必ず共有しましょう。

使用中は、定期的な観察を行い、胃瘻カテーテルの脱落や異常がないことを確認しましょう。



患者カードの一例

患者カード	
私は、胃瘻カテーテルを留置しています。	
製品名:	
氏名:	TEL:
医療機関名:	
医師名:	TEL:
留置日:	年 月 日
次回交換予定日:	年 月 日

次回交換予定日は、
カルテや情報提供用紙の他、
患者カードを使用して、
情報共有・確認しましょう！

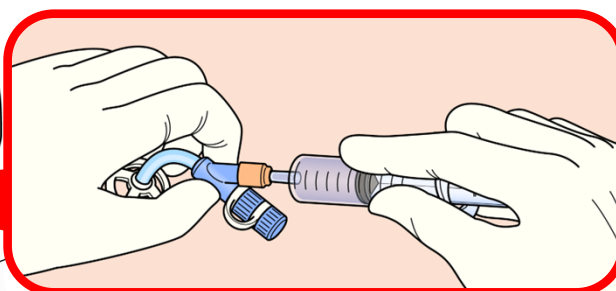
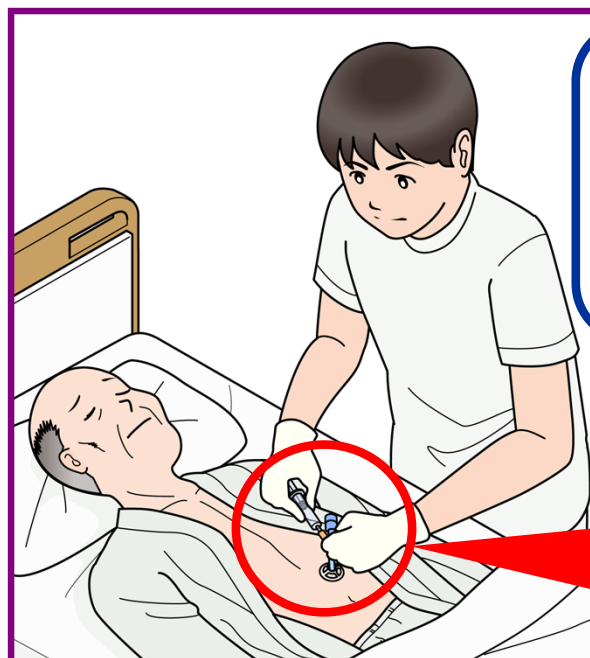


2 バルーン型の胃瘻カテーテルの固定水(滅菌蒸留水等)の確認不足による脱落

(事例3) 胃瘻カテーテルを留置後、10日間固定水の確認を行わず、胃瘻挿入部より栄養剤が漏れた。バルーンが縮小し、胃瘻カテーテルが抜けかかっていた。

バルーン型の胃瘻カテーテルは、固定水の注入が必要です。管理する際は、以下に注意しましょう！

- ・添付文書や製品に表示されている容量を注入する
- ・定期的に固定水を交換する
- ・交換頻度は添付文書を参照する



公益財団法人 日本医療機能評価機構の「医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.231 使用期間を超過した胃瘻カテーテルの破損(2026年2月)」はこちらからご覧ください。

https://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_231.pdf

この「PMDA医療安全情報」に関連したPMDA医療安全情報もご参照ください。

● PMDA医療安全情報No.43 「胃瘻チューブ取扱い時のリスク」

本情報の留意点

- * このPMDA医療安全情報は、以下の収集された事例等から、独立行政法人医薬品医療機器総合機構が専門家の意見を参考として、医療関係者に医薬品、医療機器の安全使用推進の観点から図解等を用いた分かりやすい形で情報提供を行うものです。
 - 公益財団法人日本医療機能評価機構の医療事故情報収集等事業及び薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業において収集された事例
 - 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく副作用・不具合報告において収集された事例
- * この情報の作成に当たり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
- * この情報は、医療関係者の裁量を制限したり、医療関係者に義務や責任を課したりするものではなく、あくまで医療関係者に対し、医薬品、医療機器の安全使用の推進を支援する情報として作成したものです。

「PMDA医療安全情報」を
迅速にメールでお届けします！
登録はこちらから。

